

芝浦工業大学後援会 幹事会議事録

日 時 2023 年 1 月 21 日（土）13：00～14：45

開 催 場 所 芝浦工業大学豊洲キャンパス 2301 教室、及び Zoom

出 席 者 （対面）佐藤国広、横溝聡、大越雅也、三浦知之、佐藤正樹、鬼崎充司、
葛城春恵、大下美鈴、濱田康秀、福原由佳、豊田秀雄、久保田知美、武田正、
渡部麻弥、増田高夫、斉藤フジノ、玉川祐之、鷹羽真、澁谷弘枝、戸井真砂絵、
宇津利枝、眞智洋二、西絵美、笠松知美、太田宏、斎藤泰弘、田中紀子、
鈴木晴美
（オンライン）宮本明彦、中村典子、数土学、岡直樹、加藤千里、中村恵、
松林重治、熊谷美保子、久保田直子、和田清美、佐藤美夏、朝火里津子、
中野明子

欠 席 者 深井弘志、北條勝彦、福村剛

議事録署名人 鬼崎充司、斉藤フジノ

事 務 局 室越昌美、武井清、松山香織、松本恵美子、尾野加代子（文責）

【審議事項】

1. 2023 年度当初予算編成の方向性について
2. 2023 年度会議日程・開催方法について

【報告事項】

1. 地域交流会実施報告
2. インフルエンザ予防接種実施報告
3. 11/26 豊洲保護者対象新校舎（本部棟）見学会実施報告
4. 100 円昼食実施報告
5. 後援会だよりしばうらについて
6. 2023 年度後援会援助金申請について
7. 支部事務補助費について
8. その他

【審議事項】

1. 2023 年度当初予算編成の方向性について

審議ポイント：

2023 年度定期総会は昨年と同様にオンライン開催とし、地域交流会や芝浦祭物産展は対面イベントとして設ける。また、父母懇談会は豊洲、大宮各キャンパスでの対面とオンラインのハイブリット型の実施となる見込み。そのため勉強会としてキャンパス見学会は行わない。健康支援（無料インフルエンザ予防接種）と事業を増強した食育支援は、規模は見直すものの 2023 年度も事業を継続する。

収入の部：

会費および入会金は2022年度と同水準を見込む。2022年度からの繰越は現時点の見込みで約1,300万円。合計約16,880万円を2023年度収入予算として計上。

支出の部：

(1) 学生関係事業援助（後援会援助金）

2022年度予算と同水準の7,800万円を計上。

(2) 父母懇談会開催諸経費援助

2023年度は豊洲・大宮キャンパスにて対面型の懇談会を開催予定（懇親会パーティーなし）。対面型父母懇談会費用については、2019年度実績（対面実施）より、開催案内通知経費（110万円）+ 学生アルバイトその他（100万円）=210万円を計上。別日で全国オンライン父母相談会を実施予定のため、オンライン父母相談会費用については、2022年度実績の440万円を加え合計650万円計上。

(3) 後援会奨学事業援助（自活支援奨学金）

2022年度実績と同額の1,350万円を計上。

(4) 後援会会報発行（後援会だよりしばうら）

2022年度実績予想から算出し、1,050万円を計上。

(5) 業務活動費

① 会議渉外費

定期総会をオンライン実施として、2022年度実績と同額の68万円を計上。

② 旅費交通費

2022年度の実績予想に対して、支部役員の増員分を追加し、500万円を計上。

③ 業務委託費

会計監査事務所への支払費用として、20万円を計上。

(6) 後援会特別援助事業（アクティブプラン援助金）

2022年度と同額の600万円を計上。

(7) 後援会各種活動事業

① 福利厚生援助 健康支援（インフルエンザワクチン費用援助）

2022年度実績予想（学内接種1,600名+学外接種400名=2,000名）と同水準の700万円を計上。

② 福利厚生援助 食育支援

今期は余剰金を食育支援に充当し、例年よりも非常に手厚い援助をした背景があるが、2023年度は2021年度実績規模の実施とし500万円を計上。

③ 記念品製作費

修士学生の増加に伴い2022年度より100万円増額し1,200万円を計上。

④ 地域交流会

全6支部で実施を予定。2023年度は40万円×6支部=240万円を計上。

⑤ 勉強会費用

対面型勉強会を前提とし、旅費交通費、懇親会費で300万円を計上。

⑥後援会広報活動に係わる事業

後援会 WEB サイト運営費（17 万円/1 か月×12 か月＝204 万）の他、後援会グッズ購入費 50 万円を計上。

⑦芝浦祭全国物産展の実施

2022 年度実績と同額の 50 万円を計上。

⑧朝日に輝く奨学金（新規）

地方からの本学入学促進を図る積極的な措置として、朝日に輝く奨学金の規模を拡大すべく、本学より後援会に対し経済的援助の要請があったため、新たに 500 万円を計上。

(8) 予備費

支出各項目の予算額を反映した結果、例年同様約 300 万円の計上となった。

三役と事務局の打ち合わせから、上記の 2023 年度予算編成の方向性を審議した。

審議結果： 賛成 36/36 人（100%）

2. 2023 年度会議日程・開催方法について

審議ポイント：

(1) 会議日程の変更

常任幹事会と幹事会を同日開催とせず、隔月開催に変更。常任幹事会での持ち越し事案がある場合は、後日メール等で回答の上、投票で審議をする。

(2) 幹事会の運営体制の変更

支部幹事を含む全幹事が幹事会に参加する体制に変更する。支部幹事はオンラインで参加とする。幹事が幹事会を欠席する場合は、本部幹事は会長、支部幹事は支部長へ、審議事項にかかる議決権を委任する。

(3) 会則の変更

日程や運営体制の変更に伴い、会則の変更が必要な場合は変更する（変更があれば、次回審議）。

(4) 定期総会は、2022 年度と同様オンラインで実施する。

上記変更は会則の変更を伴うため、6 月定期総会を経た 7 月から適用開始とする。

三役の提案から、上記 2023 年度会議日程案および幹事会の運営体制の変更でよいかを審議した。

審議結果： 賛成 34/34 人（100%）

【報告事項】

1. 地域交流会実施報告

報告内容： 資料の通り

2. インフルエンザ予防接種実施報告

報告内容： 資料の通り

3. 11/26 豊洲保護者対象新校舎（本部棟）見学会実施報告

報告内容： 資料の通り

今年度は勉強会の位置づけとして行った行事であり、2023 年度は見学会ではなく、従来の形に戻した勉強会を対面で行う予定。内容について今後検討していく。

4. 100 円昼食実施報告

報告内容： 資料の通り

5. 後援会だよりしばうらについて

報告内容： 資料の通り

6. 2023 年度後援会援助金申請について

報告内容： 資料の通り

7. 支部事務補助費について

報告内容： 資料の通り

8. その他

次回日程： 3 月 25 日（土）11：00～12：00 常任幹事会
13：00～15：00 幹事会

今後の確認・検討事項：

1. アクティブ・プランや勉強会の実施内容について、事前に幹事と情報を共有し円滑に実施できるようにする。
2. 食育支援について、2023 年度予算計上額 500 万円の使い道を検討する。
 - 事務局としては、500 万円規模で 100 円朝食と昼食を両方実施することは内容が薄まってしまうため難しいのではないかと考えている。
 - 朝食と昼食のどちらを重視するのか、または既存のレギュラーメニューの中から 1 種類（特定メニュー）を 100 円や 200 円で提供する案や、一部補助して値引き額で提供する案も加え、3 月の幹事会で具体案を提示する。その上で、予算案通り 500 万円を食育支援に充てるのか、または大学のその他事業への援助に充てるのかについても合わせて検討する。
 - 金券や QR コードを使って全学生へ配布する（500 円程度/人）案も、送料等の付随コストの問題を解決した上で可能であれば検討の余地はあるかもしれないが、現時点では予算全額をそのまま学生へ還元できる 100 円食などの食事としての提供案が一番有効な援助案なのではないか。

以上

会 長 佐藤 国広（2023 年 1 月 28 日 確認）
議事録署名人 鬼崎 充司（2023 年 1 月 30 日 確認）
議事録署名人 斉藤フジノ（2023 年 1 月 29 日 確認）